

＜事業の紹介③＞

【児童の居住地における小学校同級生との交流及び共同学習の取組】

相馬養護学校では、昨年度から「居住地小学校の同級生との交流及び共同学習」を行っている児童がいます。昨年度は小学校の体育の授業に本校児童が参加し、風船バレーボールやドッジボールの活動を通してふれ合いを深めました。当日だけでなく、事前に両校でメッセージVTRや本校児童の授業の様子・小学校の活動場所の写真をタブレット端末（※以下：端末）に記録し合ってそれぞれ視聴し、当日の見通しにつなげたり、小学校では1回目の交流後に2回目の内容は児童が中心で活動を考えたりと、事前・当日・事後と児童主体で交流することができ、「ぜひ次年度も。」という児童、保護者、担任の思いがあって本年度も実施となりました。

本年度も事前に、本校児童が上級生として運動会で活躍している姿や制作活動に真剣に取り組んでいる様子、そしてメッセージVTRを端末に記録して小学校児童に見せました。小学校の児童たちも当日の活動を担任の先生と話し合って考え、本校で行っている児童が得意なダンスも練習しました。

交流前日には、両校で互いに端末と大型テレビをつないでテレビ電話でやりとりをしました。本校児童は、テレビに映った小学校の学級児童全員の姿を見てたいへん驚き、そして「〇〇くん、・・・・・・まってるよー。」のメッセージを見て画面に向けて手を振ってとても喜び、当日に期待を膨らませていました。



※写真：テレビ電話の様子 *上記事業の実施内容の一つ

いよいよ当日、小学校では代表児童が玄関で本校児童を出迎え、活動場所の図工室に案内してくれました。初めての教室で緊張している様子でしたが、久しぶりにみんなに会えた嬉しさもあって、本校児童が挨拶を上手に行き、交流がスタートしました。「全員が好きなドラえものの大きな絵をみんなのメッセージも合わせて描く」という学習を行いました。班ごとにパーツを分けて本校児童と友達とで塗る範囲や色を教え合いながら協力して作成し、最後はみんなで合わせてドラえもんが完成し、全員が満足して嬉しそうでした。そして、互いに練習していたドラえもののダンスを全員で手をつないで輪になって仲よく楽しく踊りました。最後に玄関でみんなと握手をして、「楽しかったね。また合おうね!」と、今から2回目を楽しみなようでした。



※写真：ドラえもんを描いて、みんなでダンスをしました。

＜事業の紹介④＞

【校内における交流の取組「自宅で学習している児童と校内児童生徒とのテレビ電話を活用したふれ合い」】

題名の「端末活用の事業」では、上記の交流でも紹介した「テレビ電話を活用したふれ合い」を実施しています。本校には、身体の状態に合わせて自宅で学習している児童がいます。スクーリング（登校）の機会もありますが、「校内の小学部児童とのふれ合いの機会をより持てるように、少しでも同じ時間に同じ気持ちを感じることができるように」との目的でテレビ電話を試みることにしました。自宅では端末にモニターを接続し、学校では端末を使い、両方でネットワーク通信機器を活用してテレビ電話を1学期に数回実施しました。児童は自宅で、スクーリング時に一緒にいる教室の児童の学習場面や全校集会の歌・ダンスの様子、小学部合同の「みんなの時間、遊びの広場」の活動場面をモニターで見ました。毎回、児童は興味津々で、回数を重ねると自らモニターに手を伸ばし動かし、共に時間を共有しているようでした。今後も児童の状態や学校の児童の学習内容に応じて、また、交流及び共同学習の場面でもテレビ電話の方法や実施する活動内容を工夫していきたいと思います。



※写真：自宅と学校でテレビ電話をしている様子